

# 宮崎県感染症週報

## ■ 宮崎県第19週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は1,255人(定点あたり34.1)で、前週比107%と増加した。

前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と伝染性紅斑で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は131人(3.6)で前週比149%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(2.6)の約1.4倍である。高千穂(14.0)、延岡(10.5)保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では3歳から5歳で全体の約4割を占めた。

伝染性紅斑の報告数は88人(2.4)で前週比142%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(0.29)の約8.4倍である。高鍋(3.5)、高千穂(3.0)、延岡・日向(各2.8)保健所からの報告が多く、小林保健所を除く全ての保健所で警報レベルを超えている。年齢別では3歳から5歳で全体の約半数を占めた。

インフルエンザの報告数は348人(5.9)で前週比59%と減少した。日向(10.7)、都城(7.7)、中央(6.5)保健所からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の32%、6-9歳が29%、10-14歳が24%、15-19歳が3%、20歳以上が12%を占めた。

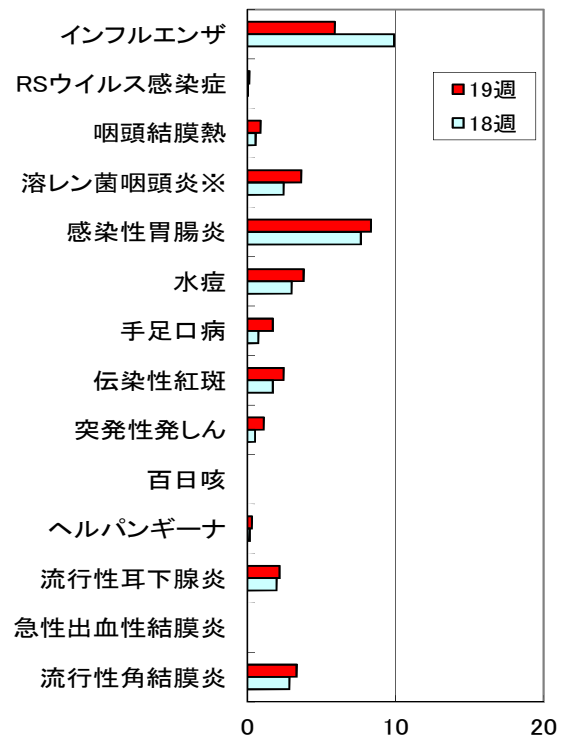
マイコプラズマ肺炎1人が都城保健所から報告された。患者は6歳の女児で原因菌は *Mycoplasma pneumoniae* であった。

クラミジア肺炎1人が高鍋保健所から報告された。患者は60歳代の男性で原因菌は *Chlamydomphila pneumoniae* であった。

## □ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報 開始基準値	定点あたり報告数		年齢分布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	3.6	高千穂(14.0)、延岡(10.5)	3歳~5歳で全体の約4割を占めた。
水痘	7	3.8	延岡(9.0)	1歳~4歳で全体の約7割を占めた。
手足口病	5	1.7	延岡(5.3)、日向(5.0)	1歳~3歳で全体の約8割を占めた。
伝染性紅斑	2	2.4	高鍋(3.5)、高千穂(3.0)、延岡・日向(各2.8)、宮崎市(2.4)、都城(2.3)、日南・中央(各2.0)	3歳~5歳で全体の約半数を占めた。
流行性耳下腺炎	6	2.2	日南(8.3)	1歳~5歳で全体の約7割を占めた。

《前週との比較》



《定点あたり報告数》  
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

## ■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 6 例が宮崎市 (2 例)、都城・日南・高鍋・中央 (各 1 例) 保健所から報告された。  
《宮崎市保健所》・30 歳代の女性で無症状病原体保有者。  
・60 歳代の男性で無症状病原体保有者。  
《都城保健所》・90 歳代の男性で皮膚結核。左側胸部皮膚腫瘍がみられた。  
《日南保健所》・70 歳代の男性で無症状病原体保有者。  
《高鍋保健所》・60 歳代の男性で疑似症患者。発熱、腸腰筋膿瘍がみられた。  
《中央保健所》・80 歳代の女性で肺結核。咳、痰がみられた。
- 3 類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 1 例が宮崎市保健所から報告された。60 歳代の女性で腹痛、血便がみられた。原因菌は 0121 (VT2 産生)。
- 4 類感染症 : 報告なし。
- 5 類感染症 : 後天性免疫不全症候群 1 例が宮崎市保健所から報告された。20 歳代の男性で A I D S。  
発熱、咳、痰、軽度呼吸困難、口腔内カンジダがみられた。

## ■ 全国第 18 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 15.6 で、前週比 68%と減少した。今週増加した主な疾患は水痘で、減少した主な疾患はインフルエンザと A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

水痘の報告数は 4,997 人 (1.6) で、前週比 105%と増加した。沖縄県 (5.0)、鹿児島県 (3.5)、長崎県 (3.1) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 4 歳で全体の約 7 割を占めた。

インフルエンザの報告数は 16,531 人 (3.4) で、前週比 50%と減少した。沖縄県 (20.2)、福井県 (11.1)、長崎県 (10.7) からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 25%、6-9 歳が 30%、10-14 歳が 22%、15-19 歳が 6%、20-50 歳代が 15%、60 歳以上が 2%を占めた。

### □全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 160 例
- 3 類感染症 : 細菌性赤痢 3 例、腸管出血性大腸菌感染症 43 例、腸チフス 1 例
- 4 類感染症 : A 型肝炎 3 例、つつが虫病 1 例、レジオネラ症 9 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 3 例、急性脳炎 2 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、後天性免疫不全症候群 3 例、梅毒 3 例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例、風疹 4 例、麻疹 15 例

## ■月報告対象疾患の発生動向 <4月>

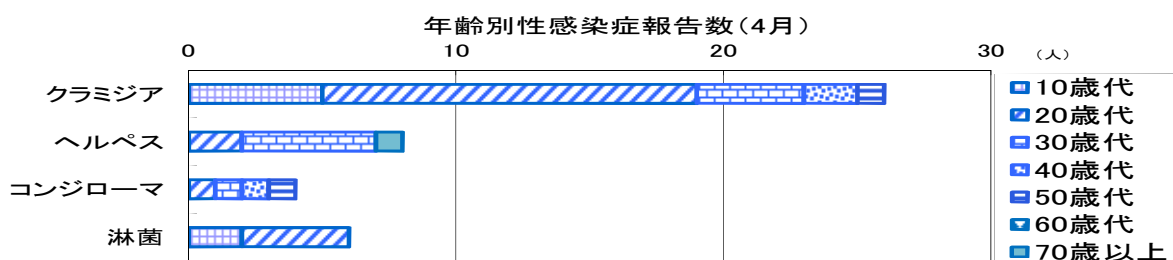
### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は44人（3.4）で、前月比107%と増加した。また、昨年4月（3.4）と同数であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数26人（2.0）で、前月とほぼ同数、前年の約1.4倍であった。日  
向（5.0）、都城（3.0）、宮崎市（2.5）保健所からの報告が多く、男  
性11人・女性15人で、20歳代が全体の約半数を占めた。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数8人（0.62）で、前月の約1.3倍、前年の約1.6倍であった。  
男性1人・女性7人で、30歳代が全体の約6割を占めた。
- 尖圭コンジローマ：報告数4人（0.31）で、前月の2倍、前年の約1.3倍であった。20歳代、30  
歳代、40歳代、50歳代がそれぞれ1人であった。
- 淋菌感染症：報告数6人（0.46）で、前月の約8割、前年の約4割であった。男性4人・女性2人で、  
10歳代が2人、20歳代が4人であった。



【全国】 定点医療機関総数：957

定点医療機関からの報告総数は3,786人（4.0）で、前月比100%と横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症1,946人（2.0）で前月比97%、性器ヘルペスウイルス感染症630人（0.66）で前月比96%、尖圭コンジローマ447人（0.47）で前月比109%、淋菌感染症763人（0.80）で前月比104%であった。

### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は53人（7.6）で前月比136%と増加した。また昨年4月（4.7）の160%であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数37人（5.3）で、前月の約1.3倍、前年の約1.9  
倍であった。宮崎市（13.0）、高鍋（8.0）、延岡・日  
南（各6.0）保健所からの報告が多く、70歳以上が全体  
の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数16人（2.3）で、前月の約2.3倍、前年の約1.1倍であっ  
た。宮崎市（13.0）保健所からの報告が多く、10歳未満が全  
体の約8割を占めた。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

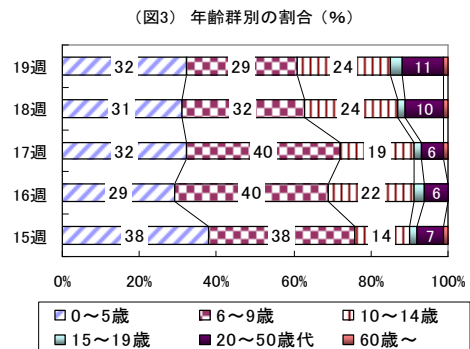
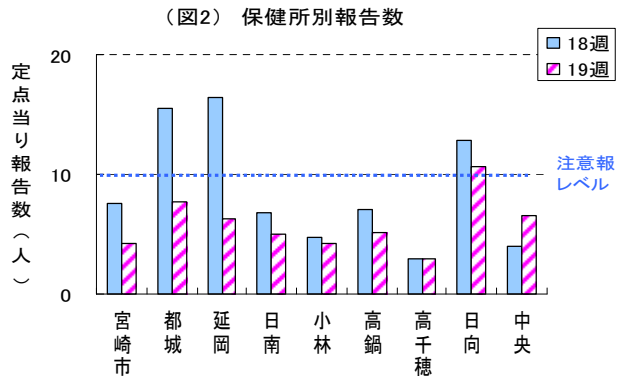
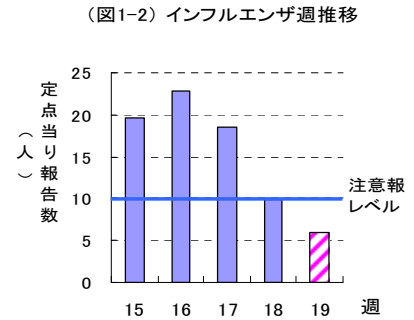
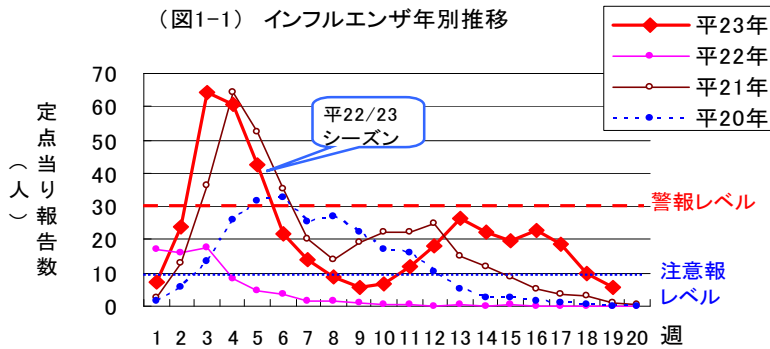
【全国】 定点医療機関総数：463

定点医療機関からの報告総数は2,259人（4.9）で、前月比104%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,823人（3.9）で前月比101%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症407人（0.88）で前月比124%、薬剤耐性緑膿菌感染症29人（0.06）で前月比100%、薬剤耐性アシネトバクター感染症の報告はなかった。

# ■ インフルエンザ情報《県内第19週、全国第18週（再掲）》

## □ 県内第19週インフルエンザ発生動向

平成23年5月9日～5月15日までの1週間で348人（定点あたり5.9）の報告があり、前週と比べ59%と減少した（図1-1,2）。日向（10.7）、都城（7.7）、中央（6.5）、延岡（6.3）保健所からの報告が多かった（図2）。年齢別では5歳以下が全体の32%、6-9歳が29%、10-14歳が24%、15-19歳が3%、20歳以上が12%を占めた（図3）。



## インフルエンザ 警報・注意報レベル状況

インフルエンザの定点あたり報告数と警報・注意報レベル発生状況

○: 警報レベル、△: 注意報レベル、- 警報・注意報レベルなし

保健所	今週 (第19週)		1週前 (第18週)		2週前 (第17週)		3週前 (第16週)		4週前 (第15週)		5週前 (第14週)	
	5/9~5/15		5/2~5/8		4/25~5/1		4/18~4/24		4/11~4/17		4/4~4/10	
	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況
宮崎市	4.2	-	7.6	-	17.3	△	21.0	△	20.8	△	30.1	○
都城	7.7	-	15.5	△	26.8	△	26.8	△	17.5	△	15.4	△
延岡	6.3	-	16.4	△	26.9	△	28.1	△	22.9	△	34.0	○
日南	5.0	-	6.8	-	16.0	△	18.4	△	11.0	△	10.2	△
小林	4.2	-	4.8	-	8.6	-	11.6	△	6.0	-	8.2	-
高鍋	5.2	-	7.0	-	12.5	△	26.5	△	28.3	△	27.0	△
高千穂	3.0	-	3.0	-	2.0	-	9.5	-	3.5	-	0.0	-
日向	10.7	△	12.8	△	24.5	△	31.7	○	27.7	△	19.7	△
中央	6.5	-	4.0	-	7.5	-	13.0	△	28.5	△	28.0	△

## □ 全国第18週インフルエンザ発生動向

平成23年5月2日～5月8日までの1週間で16,531人（3.4）の報告があった。連休の影響もあり前週の50%に減少した。沖縄県（20.2）、福井県（11.1）、長崎県（10.7）からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の25%、6-9歳が30%、10-14歳が22%、15-19歳が6%、20-50歳代が15%、60歳以上が2%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2011年 第19週(05月09日～05月15日)

疾病名		第18週	第19週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	575	348	67	77	44	25	21	31	6	64	13
	定点あたり	9.91	5.90	4.19	7.70	6.29	5.00	4.20	5.17	3.00	10.67	6.50
RSウイルス 感染症	報告数	2	5	1			1				3	
	定点あたり	0.06	0.14	0.10	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00
咽頭結膜熱	報告数	20	32	1	10	9	3	2	4		3	
	定点あたり	0.56	0.89	0.10	1.67	2.25	1.00	0.67	1.00	0.00	0.75	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	88	131	19	17	42	16	2	8	14	12	1
	定点あたり	2.44	3.64	1.90	2.83	10.50	5.33	0.67	2.00	14.00	3.00	1.00
感染性胃腸炎	報告数	276	301	61	53	24	28	53	20	4	53	5
	定点あたり	7.67	8.36	6.10	8.83	6.00	9.33	17.67	5.00	4.00	13.25	5.00
水痘	報告数	108	137	37	12	36	3	18	8		23	
	定点あたり	3.00	3.81	3.70	2.00	9.00	1.00	6.00	2.00	0.00	5.75	0.00
手足口病	報告数	27	62	19		21		1	1		20	
	定点あたり	0.75	1.72	1.90	0.00	5.25	0.00	0.33	0.25	0.00	5.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	62	88	24	14	11	6	3	14	3	11	2
	定点あたり	1.72	2.44	2.40	2.33	2.75	2.00	1.00	3.50	3.00	2.75	2.00
突発性発しん	報告数	19	40	12	7	5	3	2	6		3	2
	定点あたり	0.53	1.11	1.20	1.17	1.25	1.00	0.67	1.50	0.00	0.75	2.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	6	11		2	1		1	2	2	3	
	定点あたり	0.17	0.31	0.00	0.33	0.25	0.00	0.33	0.50	2.00	0.75	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	71	78	35	1	6	25	5	2		2	2
	定点あたり	1.97	2.17	3.50	0.17	1.50	8.33	1.67	0.50	0.00	0.50	2.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	17	20	19	1							
	定点あたり	2.83	3.33	6.33	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	1		1							
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数		1						1			
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2011年第1週～19週)

2類感染症	結核	102例(6)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	15例(1)			
4類感染症	A型肝炎	1例	つつが虫病	2例	
	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎 3例
5類感染症	後天性免疫不全症候群	6例(1)	梅毒	3例	破傷風 2例
	風しん	1例	麻しん	1例	

●動物感染症累積報告数(2011年1週～19週)(参考)

指定感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)の鳥類	20例
-------	-------------------	-----

( )内は今週届出分、再掲